

「クラシノコアゲ応援団」福島県中央街頭行動第8弾

地域社会の実情に合った経済・政策活動が不可避

～政治を変えるのは民意、民意は生活、生活を守るのが政治～



主催者代表挨拶をする今泉会長

クラシノコアゲ応援団・街頭行動第8弾は、11月10日午後4時50分から福島駅東口（中合前）にて、連合福島と県労福協の共催で連合福島の役員が中心となって開催された。

冒頭に主催者を代表して今泉裕連合福島会長が「復興に向け、農業の再生は大切であり、集団化への大転換と担い手をどう補



岡部民進党県連副代表



紺野社民党県連代表

政策活動を進める必要がある。不当な労働行為に苦しみ、長時間労働・過労死が話題となっているが、働き方の根本的な見直しを身近な問題として取り組む必要がある。EU、米国、韓国、そして日本において共通しているのは格差問題である。民意は生活を良くし、中央との格差を縮めたいと思っている。政治を変えるのは民意で、民意は生活、生活を守るのが政治である。地域事情に合った産



佐久間県労福協事務局長

業・雇用政策の必要性を訴えよう。」と、挨拶した。

その後、民進党福島県連の岡部光規副代表と社民党福島県連の紺野長人代表から激励のご挨拶を頂いた。さらに、県労福協の佐久間通事務局長より奨学金制度の拡充・給付型奨学金制度の導入について現況報告とアピールがなされた。また、ポピーの種とティッシュを配布しながら、連合が取り



遠藤副会長の力強いガンバロー三唱で締める

組む活動に対して、市民の皆さんに理解と協力を求めた。

最後に連合福島遠藤和也副会長の力強いガンバロー三唱で、街宣行動は締められた。



今こそ暮らしの底上げを!